

地域福祉活動計画重点事業の進捗について

【地域交流のつどい・サロン活動の支援】 ○ → 充実

(事業評価)

今年度実績:新規 7か所(高齢者 6か所、子育て 1か所)。休止 1か所
 サロン総数 37か所(高齢者34か所、子育て2か所、多世代交流1か所)

※平成29年1月20日現在

サロン活動者と「見守りサポーター ながくて」との交流会を開催して、情報交換と交流を行いました。

3年目の助成内容を見直して、年間を通じての使用を認めるなど、現状に即した形に変更しました。

(今後の方針)

障がい児・者サロンの立上げを積極的に促していきます。そのため、「見守りサポーター ながくて」上級を中心に、市内の障がい者福祉事業所と話し合いの場を設けます。

【「見守りサポーター ながくて」養成事業】 ○ → 充実

(事業評価)

今年度サポーター養成実績:初級 426名(13回開講) 中級 40名(2回開講)
 サポーター総数 初級 909名、中級 123名、上級 36名

※平成29年1月20日現在

初級サポーターが増えた要因としては、まちづくり協議会、愛知県立大学、愛知淑徳大学や自治会と協力して、初級講座を行うことができたためです。

上級・中級サポーターと民生委員との連携強化を目的に、小学校区ごとの交流会を開催しました。上級サポーターフォローアップ研修を行いました。

(今後の方針)

民生委員と上級サポーターの関係の連携強化、関係、役割の明確化を図るため、要綱の改正をします。

【地区社協設置事業(CSWの設置)】 △ → 充実

西・北・市が洞小学校区地区社協の部会活動として、「感度の良いコミュニティ」作りのために、合計78回(延べ1003人参加)の地域福祉学習会を行いました。

※平成29年1月20日現在

各地区社協で、子どもサロン「もりもり元気食堂」、「さくさく宿題教室」の開催や子育て中の母親向け冊子の発行、「施設見学ツアー」、「絵手紙教室」を実施しました。

例えば、「もりもり元気食堂」では述べ181名(昨年:83名)に食事を提供し、「さくさく宿題教室」では述べ85名(昨年:31名)に学習支援を行いました。「施設見学ツアー」では、「自分の目で介護施設を見てみたい」という市民の声を反映し、介護保険制度の学習会と介護施設の見学ツアーを行いました。

CSWの相談実件数実績 ※平成29年1月1日現在

西小学校区760件、北小学校区865件、市が洞小学校区57件

(今後の方針)

市が洞小学校区では、CSWの配置ができていないため、相談件数が大幅に少ない現状です。そのため、地区社協にCSWの配置を目指します。各小学校区に地区社協を設置し、CSWを配置することで、地区社協による地域支援とCSWによる個別支援を連動させて行う地域作り＝地域包括ケアシステムの構築を行っていきます。